

**2019年度 理研シンポジウム**  
**小型中性子源がインフラ・ものづくり現場の非破壊評価分析を変える**  
**－ 大型、小型の連携で挑む元素分析、組織・構造解析の革新 －**

開催日時： 2019年12月19日(木) 9:30～17:40 (受付開始:9:00)

開催場所： 国立研究開発法人理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール:埼玉県和光市広沢2-1

時刻	内容	講演者
9:30～9:35	シンポジウム開催の挨拶	理化学研究所 量子工学研究センター センター長 緑川 克美
9:35～9:40	来賓の挨拶	文部科学省 量研室室長
9:40～10:20	理研小型中性子源システムRANSプロジェクト実用化へ向けて	理化学研究所 中性子ビーム技術開発チーム チームリーダー 大竹 淑恵
10:20～10:50	小型中性子源小角散乱装置 ib-SASの建設とJ-PARCとの連携	茨城大学理工学研究科 工学部教授 小泉 智
10:50～11:15	メチルベンゼンを用いた冷中性子源と集光型小角散乱装置の研究開発	理化学研究所 先端光学素子開発チーム チームリーダー 山形 豊
11:15～11:45	「稼働開始した可搬型プロトタイプ中性子源RANS-II」	理化学研究所 中性子ビーム技術開発チーム 小林知洋
11:45～ ～13:45	昼食 理研小型中性子源システム「RANS, RANS II」見学会	
13:45～14:10	RANS高性能化に向けた冷中性子モデレーターの開発 Cold neutron moderator development toward high performance RANS	J-PARC 池田裕二郎
14:10～14:40	日本語:構造材料分析のための小型中性子解析装置の開発	新構造材料技術研究組合 (ISMA) (産業技術総合研究所(AIST)) 大島 永康
14:40～15:05	小型中性子源RANSの特色を生かした大体積試料の元素分析	理化学研究所 中性子ビーム技術開発チーム 若林 泰生
15:05～15:35	日本語:レーザ応用計測技術の工業応用展開 英語:Industrial Applications of Laser Diagnostics	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 教授 出口 祥啓
15:35～16:10	休憩、ポスターセッション	会場前ロビー
16:10～16:40	日本語:鉄鋼材料の集合組織測定研究に関する大型中性子施設とRIKEN小型中性子源の連携 英語: Cooperation of texture measurement study of steel materials between a large neutron facility and RIKEN compact neutron source	日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター 応力・イメージング研究グループ 徐平光
16:40～17:10	日本語:機械学習を用いた量子ビーム実験の効率化 英語:Optimized quantum beam experiment with machine learning	KEK 高エネルギー加速器研究機構 放射光実験施設 准教授 小野 寛太
17:10～17:35	RANSの社会実装に向けた取り組み	理化学研究所 イノベーション事業本部 実用化コーディネーター 井門 孝治
17:35～17:40	閉会の挨拶	理化学研究所 理事 小寺 秀俊
18:00～	懇親会、ポスターセッション	生物棟 二階ホールあるいは三階ホール